

Energy・NEXT を担う学生たち

2期生 18名



池田 祐子

出身学科 電気・情報生命工学

専門外の知識も身に付け、様々な状況に対応できる女性研究者のバイオニアに。



岩沢 康宏

出身学科 化学・生命化学

専門を超えた視野を持った発信力のある人材になる。



乙川 光平

出身学科 生命医科学

誰も代わりとなることのない独創性溢れる人材を目指す。



川井 拓真

出身学科 応用化学

常に挑戦する姿勢を武器に、仲間とともに世界の頂点を目指す。



喜久里 浩之

出身学科 電気・情報生命工学

ポーターレスに活躍できる人材に、そして研究・開発から豊かな世界の実現に貢献したい。



佐藤 歓

出身学科 応用化学

迫り来る多彩なチャンスを確認に捉え、基礎力・専門性・視野を向上させる。



下島 洋

出身学科 応用化学

多角的な視野と常識にとられない発想で、世界を牽引するフロントランナーを目指す。



白江 宏之

出身学科 応用化学

多様な知識を身に付け、諸分野の融合による課題解決を狙う。



田中 克明

出身学科 生命理工学

エネルギーという視点をロボット工学に広げ、ロボットの普及を通して世界をリードして行きたい。



露木 康博

出身学科 応用化学

多角的視野および問題解決能力を得て、第一線で活躍する研究者となる。



中込 攻太郎

出身学科 応用物理学

多彩な視点と能力を身に付け、世界の諸問題に挑む優秀な研究者を目指す。



野間口 達洋

出身学科 生命医科学

専門分野に囚われない、広い知識と視野の獲得を目指す。



原口 敦嗣

出身学科 電気・情報生命工学

プログラムで得られる専門性や俯瞰力を生かし、幅広い知識と視野を持った世界で戦える研究者へ。



原 慎太郎

出身学科 応用化学

マルチな視点、高度な専門知識、他にない創造力を有する博士人材に。



真鋼 亮

出身学科 応用化学

専門力と俯瞰力を兼ね備え、将来の日本を支える人材を目指す。



丸尾 浩史

出身学科 応用化学

自身の専門分野を軸にして幅広い知識を生かしたグローバルリーダーを目指す。



山岸 健人

出身学科 生命医科学

グローバルな視点から日本の医療とエネルギーの現状と未来を俯瞰し、自ら設定した課題の解決に向けて挑戦できる人材を目指す。



和田 義史

出身学科 物理学

深い専門知識と広い知見を身につけ、世界をリードする研究者へ。



2期生 喜久里 浩之さん

リーディング学生の1日

登校

通学中は、電車で読書をしたり音楽や英語を聞くようにしています。
スマホでニュースを確認したり寝てしまうことも多々あります。

講義「Advanced Technical Presentation」

来たるべく英語での研究発表の日に備えて英語でのプレゼンテーションの方法を学んでいます。
先生は適切で丁寧な指導をしてくれるので、とてもためになる講義の1つです。
私の所属研究室の大半の学生は学部時代のライティングの講義を含め大変お世話になっています。

研究室グループゼミ

全体ゼミの他に、研究内容が近いメンバーで集まって自主的にゼミを開催しています。
全体ゼミよりも少人数で行われるため活発なディスカッションができます。



講義「エネルギーネクストシステムデバイス特論」

リーディング特有の講義の1つで、学内外の多様な専門分野の先生の講義を受けることで、エネルギー問題を俯瞰的に考える知識を身に付けています。



研究紹介

スマートグリッド(次世代送配電システム)の構築に向けた研究によって、エネルギー問題に対して電力分野から解決に取り組んでいます。太陽光発電や風力発電など再生可能エネルギーの導入に伴い、電力系統では電圧上昇などの問題が生じています。これに対し、既存の電力系統にICTを導入した新たな電圧制御技術を開発することで問題解決を図っています。

9:00

9:00 - 10:40

10:40 - 12:10

12:10 - 13:00

13:00 - 15:00

15:00 - 18:15

18:15 - 19:45

19:45 - 21:00

1日のスケジュールを確認

1日の研究計画を確認し、効率的に進めるようにしています。また、リーディングは課題が出される講義が多いので、隙間の時間を有効に使って講義の課題を済ませていきます。

昼食休憩

研究室の人たちで和気あいあいとおしゃべりしながら昼食をとります。たまには真面目な話もします。
もっと学食のメニューを増やしてコストも良くしてほしいと日々感じています。

自分の研究をやる

長い時間が取れるときに研究を進めるようにしています。主に、PCで電力システムのシミュレーションをしているので、シミュレーション用のプログラムを書いたり結果を整理して考察します。問題をいかに解決するかを考えている時間が一番楽しいです。
共同研究先との打ち合わせが入ることもあります。



研究に戻る

考察の続きや条件を変えて再実行してみたり、それらを踏まえて次の計画を立てたりします。また、参考になる文献を調べたり、ゼミや学会等の発表資料を納得いくまでコツコツと作成していきます。